

気象情報をさらに有効に 活用して頂くために ～XML形式による提供に向けて～

平成20年12月16日(火)

気象庁総務部企画課

山腰 裕一

気象情報をさらに有効に活用して頂くために

【背景、目的など】

- 防災気象情報の高度化
 - 緊急地震速報の広く国民への提供開始
 - 市町村を単位とした気象警報の提供に向けて

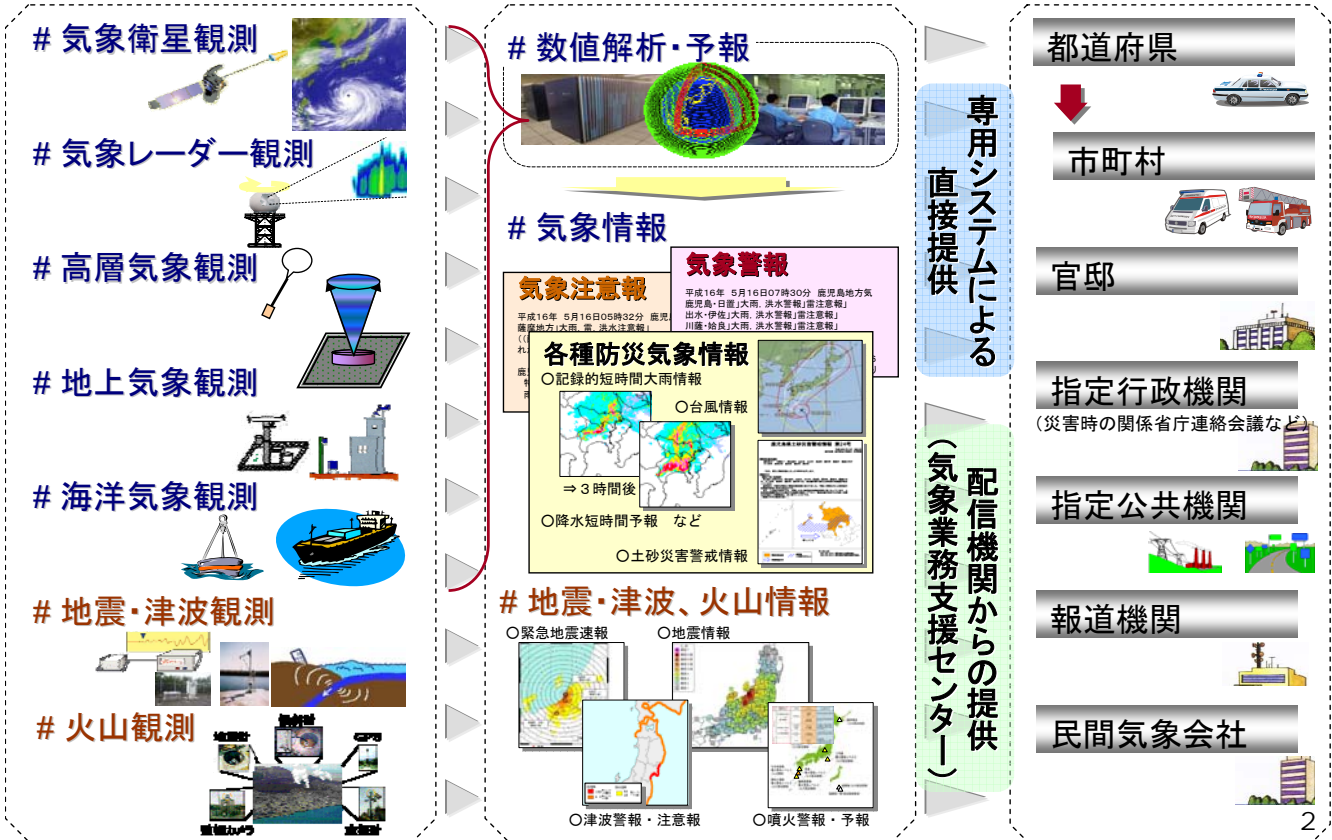
新しい情報は利用されてこそ…

しかし、利用しやすいものか？ 処理コストは？

？どうすれば？

- 防災機関等における防災関係情報の共有の推進
- きめ細かい防災関係情報を国民一人ひとりに

はじめに：気象庁からの防災情報の流れ



防災気象情報の高度化

求められる情報とは

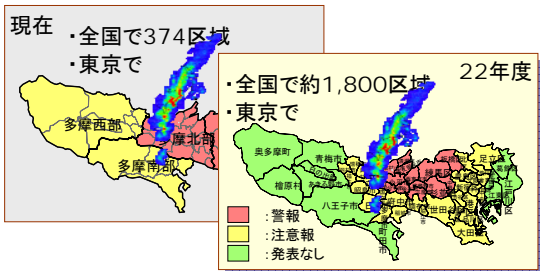
近年の災害を振り返って

・我がまち、我がことと思える情報
⇒ 市町村を対象に

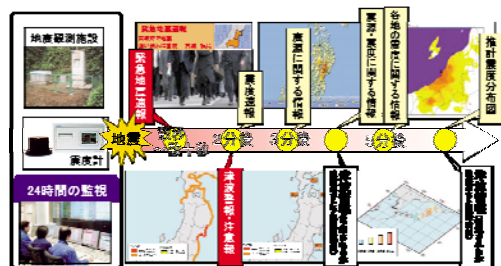
・少しでも早い正確な情報
⇒ 揺れる前に

防災気象情報の強化

・気象警報等の改善



・地震津波情報等の改善



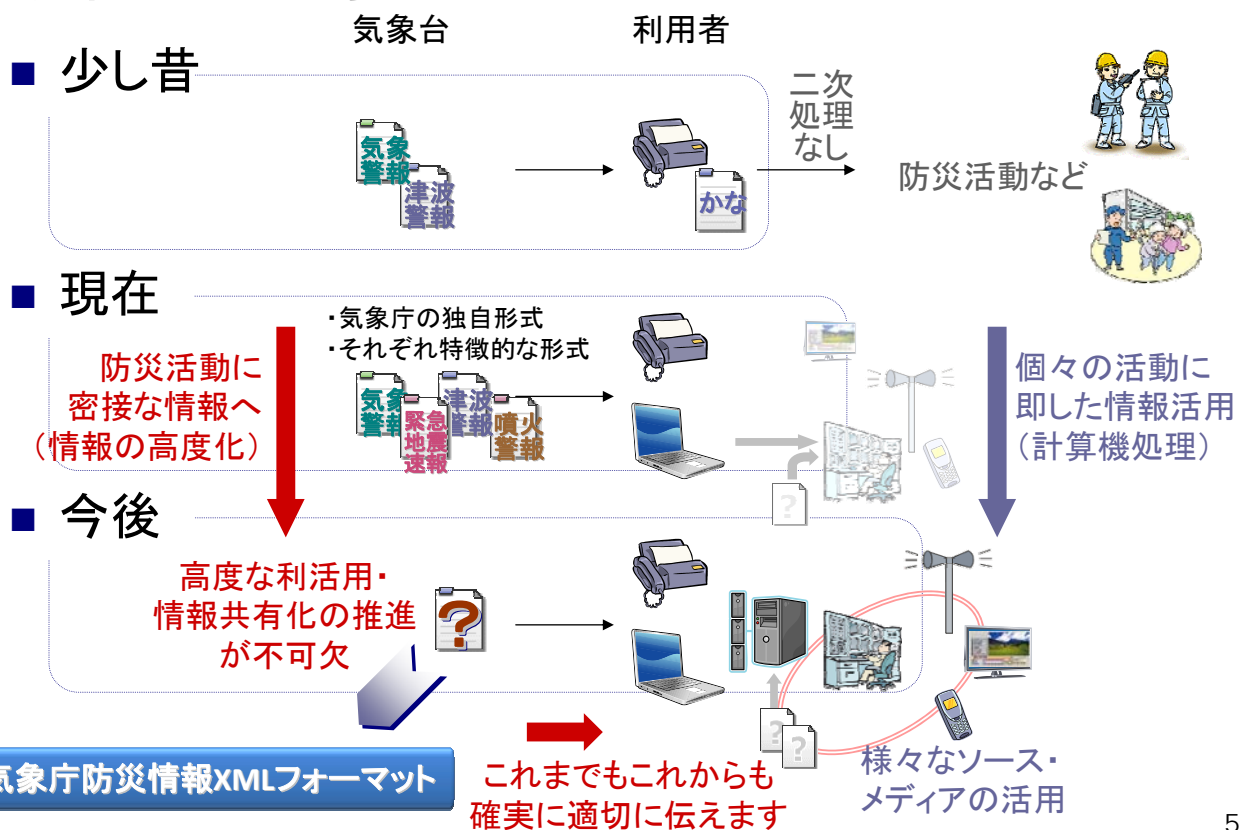
ITの進展、様々なメディア

いつでも
どこでも
だれでも



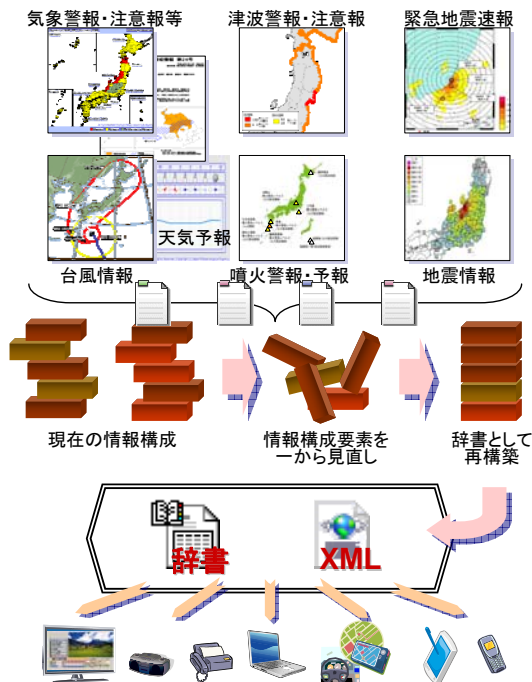
XML形式による提供

提供形態の変遷



「気象庁防災情報XMLフォーマット」の策定

全ての電文のXML化



- 汎用技術を用いて容易に情報を加工可能
- 気象や地震等異なる分野の情報を統一的に処理可能
- 情報の要素追加等の軽微な内容変更に対して、柔軟に対応可能
- 経費面の負担軽減

高度な利活用
情報共有化の推進

平成20年度 仕様公開
平成22年度 提供開始

(参考)

「気象庁防災情報XMLフォーマット」の構造

